

令和 5 年度（下期）

上水道事業業務状況報告書

月新水道企業団

目 次

第 1	令和 5 年度業務状況	1
1	総括事項	1
2	業 務 量	1
(1)	業務の概要	1
(2)	総括表	1
3	経理の状況	3
(1)	収益的収入及び支出	3
(2)	資本的収入及び支出	4
(3)	令和 5 年度月新水道企業団上水道事業損益計算書	6
(4)	令和 5 年度月新水道企業団上水道事業貸借対照表	8
4	工事の概要	1 2
第 2	令和 6 年度予算の状況	1 3
1	概 要	1 3
2	経理の状況	1 4
(1)	収益的収入及び支出（消費税込み表示）	1 4
(2)	資本的収入及び支出（消費税込み表示）	1 5
3	事業の経営方針	1 6

第 1 令和 5 年度業務状況

1 総括事項

月新水道企業団の上水道事業は、関係町村（月形町、新篠津村）へ安全で良質な水道水を安定的に供給するため、老朽化施設や設備の予防的修繕を行い長寿命化を図るほか、水質管理体制の強化に努めています。

令和 5 年度下期は上期に引き続き、検針用水道メーターの取替業務を行い、11 月下旬までに月形町及び新篠津村内を合わせ 335 台の取替業務を行いました。また、令和 3 年夏の降水不足による渇水対策のため、須部都川の水位が平年の 3 分の 1 程度までに低下し、取水が困難な状況になってきたことから、取水施設改修工事を実施し、取水口付近の河床底面に集水柵を設置したほか、集水渠内の土砂の除去作業を行う機能改善工事を実施しました。

今後とも、令和 3 年度から 12 年度までの 10 年間を計画期間とする「月新水道企業団上水道事業経営戦略」に従い、浄水場や導水ポンプ場、水管橋、取水施設など適正な維持管理に努め、「おいしい水」を未来永劫にわたってつなげてまいります。

2 業務量

（1）業務の概要

給水業務の状況は、令和 5 年度の年間総給水量 886,312 m³（対前年度：△53,108 m³）に対して、年間有収水量は 735,482 m³（対前年度：△12,047 m³）という結果になり、有収率は 82.98%（前年度：79.57%）でした。配水管の老朽化等に伴い、年々減少傾向で推移してきましたが、企業団職員の定期的な巡回及び地域住民からの情報提供のほか、漏水調査業務に力を入れたこともあり改善傾向にあります。なお、一日平均給水量は 2,428 m³（対前年度：△145 m³）で、一日の最大給水量は昨年 6 月 19 日に記録した 3,243 m³（対前年度：△95 m³）でした。

（2）総括表

項 目	上期（9 月）	下期（3 月）	計
給水区域内人口※	5, 3 0 4 人	5, 2 1 2 人	6 3, 5 9 2 人
月形給水区	2, 4 7 9 人	2, 4 4 3 人	2 9, 7 7 5 人
新篠津給水区	2, 8 2 5 人	2, 7 6 9 人	3 3, 8 1 7 人

給水人口※	5, 2 9 2 人	5, 2 0 0 人	6 3, 4 4 8 人
月形給水区	2, 4 6 9 人	2, 4 3 3 人	2 9, 6 5 5 人
新篠津給水区	2, 8 2 3 人	2, 7 6 7 人	3 3, 7 9 3 人
給水区域内戸数※	2, 7 1 3 戸	2, 6 9 1 戸	3 2, 5 2 0 戸
月形給水区	1, 4 1 6 戸	1, 4 0 8 戸	1 7, 0 0 3 戸
新篠津給水区	1, 2 9 7 戸	1, 2 8 3 戸	1 5, 5 1 7 戸
給水戸数※	2, 7 0 6 戸	2, 6 8 4 戸	3 2, 4 3 6 戸
月形給水区	1, 4 1 0 戸	1, 4 0 2 戸	1 6, 9 3 1 戸
新篠津給水区	1, 2 9 6 戸	1, 2 8 2 戸	1 5, 5 0 5 戸
総給水量	4 6 9, 3 4 1 m ³	4 1 6, 9 7 1 m ³	8 8 6, 3 1 2 m ³
月形給水区	2 3 8, 7 3 2 m ³	2 1 3, 5 3 5 m ³	4 5 2, 2 6 7 m ³
新篠津給水区	2 3 0, 6 0 9 m ³	2 0 3, 4 3 6 m ³	4 3 4, 0 4 5 m ³
有収水量	3 9 8, 6 6 4 m ³	3 3 6, 8 1 8 m ³	7 3 5, 4 8 2 m ³
月形給水区	2 0 7, 4 2 9 m ³	1 7 3, 5 9 3 m ³	3 8 1, 0 2 2 m ³
新篠津給水区	1 9 1, 2 3 5 m ³	1 6 3, 2 2 5 m ³	3 5 4, 4 6 0 m ³
一日給水量			
最 大	3, 2 4 3 m ³	2, 6 8 7 m ³	3, 2 4 3 m ³
平 均	2, 5 6 4 m ³	2, 2 7 9 m ³	2, 4 2 0 m ³
1 人一日給水量			
最 大	0. 6 1 3 m ³	0. 5 1 7 m ³	0. 6 2 4 m ³
平 均	0. 4 8 5 m ³	0. 4 3 8 m ³	0. 4 6 5 m ³
有収率 (%)	8 4. 9 4 %	8 0. 7 8 %	8 2. 9 8 %
月形給水区	8 6. 8 9 %	8 1. 2 9 %	8 4. 2 5 %
新篠津給水区	8 2. 9 3 %	8 0. 2 3 %	8 1. 6 6 %

※ 給水区域内人口及び給水人口、給水区域内戸数、給水戸数の計は令和5年4月～令和6年3月までの延べ数を掲載。

3 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出

ア 収益的収支の状況

収入額の上半期が 96,539,145 円、下半期が 95,619,496 円で合計 192,158,641 円となり、予算に対して 688,359 円の減（0.36%の減）。また、支出額は上半期が 68,570,656 円、下半期が 106,738,209 円で合計 175,308,865 円となり、執行率 97.94%、不用額は 3,693,135 円でした。

イ 予算の執行状況（消費税込み表示）

【収入】

（単位：円）

区 分	予算現額	執行額			執行率
		上 期	下 期	計	
水道事業収益	192,847,000	96,539,145	95,619,496	192,158,641	99.64%
営業収益	179,229,000	96,354,965	82,301,944	178,656,909	99.68%
給水収益	179,043,000	96,262,265	82,253,644	178,515,909	99.71%
その他営業収益	186,000	92,700	48,300	141,000	75.81%
営業外収益	13,618,000	184,180	13,317,552	13,501,732	99.15%
受取利息	151,000	114,490	39,561	154,051	102.02%
補助金	2,000	0	0	0	0.00%
負担金	1,000	0	0	0	0.00%
消費税還付金	1,000	0	0	0	0.00%
雑収益	5,623,000	69,690	5,514,707	5,584,397	99.31%
長期前受金戻入	7,840,000	0	7,763,284	7,763,284	99.02%

【支出】

（単位：円）

区 分	予算現額	執行額			執行率
		上 期	下 期	計	
水道事業費用	179,002,000	68,570,656	106,738,209	175,308,865	97.94%
営業費用	171,017,800	67,686,016	99,838,830	167,524,846	97.96%
原水及び浄水費	56,797,800	37,401,880	18,516,514	55,918,394	98.45%
配水及び給水費	33,039,000	19,602,605	13,086,689	32,689,294	98.94%
総係費	26,670,733	10,681,531	13,725,360	24,406,891	91.51%

減価償却費	52,551,699	0	52,551,699	52,551,699	100.00%
資産減耗費	1,958,568	0	1,958,568	1,958,568	100.00%
営業外費用	7,784,200	884,640	6,899,379	7,784,019	100.00%
支払利息	1,749,000	884,640	864,179	1,748,819	99.99%
雑支出	6,035,200	0	6,035,200	6,035,200	100.00%
予備費	200,000	0	0	0	0.00%
予備費	200,000	0	0	0	0.00%

(2) 資本的収入及び支出

ア 資本的収支の状況

収入額は上半期が0円、下半期が557,000円となり、予算に対して2,000円の減。これに対して、支出額は上半期が30,282,654円、下半期が15,128,505円で合計45,411,159円となり、執行率100.00%（四捨五入）、不用額は841円でした。

イ 予算の執行状況（消費税込み表示）

【収入】

（単位：円）

区 分	予算現額	執行額			執行率
		上 期	下 期	計	
資本的収入	559,000	0	557,000	557,000	99.64%
工事補償金	557,000	0	557,000	557,000	100.00%
工事補償金	557,000	0	557,000	557,000	100.00%
出資金	2,000	0	0	0	0.00%
出資金	2,000	0	0	0	0.00%

【支出】

（単位：円）

区 分	予算現額	執行額			執行率
		上 期	下 期	計	
資本的支出	45,412,000	30,282,654	15,128,505	45,411,159	100.00%
建設改良費	37,316,000	26,244,900	11,070,290	37,315,190	100.00%
改良事業費	16,874,000	16,874,000	0	16,874,000	100.00%
営業設備費	20,442,000	9,370,900	11,070,290	20,441,190	100.00%

企業債償還金	8,096,000	4,037,754	4,058,215	8,095,969	100.00%
企業債償還金	8,096,000	4,037,754	4,058,215	8,095,969	100.00%
固定資産購入費	0	0	0	0	0.00%
固定資産購入費	0	0	0	0	0.00%

資本的支出に対して、資本的収入の不足額 44,854,159 円は、当年度分損益勘定留保資金で補てんします。

(3) 令和5年度月新水道企業団上水道事業損益計算書

【令和5年4月1日から令和6年3月31日まで】

(単位:円)

1 営業収益

(1) 給水収益	162,287,190	
(2) その他営業収益	141,000	<u>162,428,190</u>

2 営業費用

(1) 原水及び浄水費	52,750,371	
(2) 配水及び給水費	30,900,090	
(3) 総係費	23,218,394	
(4) 減価償却費	52,551,699	
(5) 資産減耗費	1,958,568	<u>161,379,122</u>

営業利益		<u>1,049,068</u>
------	--	------------------

3 営業外収益

(1) 受取利息	154,051	
(2) 補助金	0	
(3) 負担金	0	
(4) 消費税還付金	0	
(5) 雑収益	5,080,867	
(6) 長期前受金戻入	7,763,284	<u>12,998,202</u>

当年度総利益		<u>14,047,270</u>
--------	--	-------------------

4 営業外費用

(1) 支払利息	1,748,819	
(2) 雑支出	0	<u>1,748,819</u>

当年度経常利益		<u>12,298,451</u>
---------	--	-------------------

5 特別利益	0	
--------	---	--

6 特別損失	0	
--------	---	--

7 予備費	0	
-------	---	--

当年度純利益	<u>12,298,451</u>
その他の未処分利益剰余金変動額	<u>0</u>
当年度未処分利益剰余金	<u><u>1,085,680,651</u></u>

(4) 令和5年度月新水道企業団上水道事業貸借対照表【令和6年3月31日】

(単位:円)

資 産 の 部

1 固定資産

(1) 有形固定資産

土 地		2,881,300
建 物	354,410,101	
建物減価償却引当額	257,437,370	96,972,731
構築物	2,038,221,110	
構築物減価償却引当額	1,262,618,885	775,602,225
機械及び装置	314,783,981	
機械及び装置減価償却引当額	196,088,370	118,695,611
工具器具及び備品	16,190,430	
工具器具及び備品減価償却引当額	12,033,439	4,156,991
車両運搬具	9,094,295	
車両運搬具減価償却引当額	7,603,819	1,490,476
有形固定資産合計		<u>999,799,334</u>
(2) 無形固定資産		
電話加入権		616,100
ソフトウェア		10,847,400
無形固定資産合計		<u>11,463,500</u>
固定資産合計		<u><u>1,011,262,834</u></u>

2 流動資産

(1) 現金預金

現金預金	537,781,451	
現金預金合計		<u>537,781,451</u>

(2) 未収金

営業未収金	14,306,772	
未収金合計		<u>14,306,772</u>

(3) 前払金

前払金	0	
-----	---	--

前払金合計		<u>0</u>
(4) 貯蔵品		
貯蔵品	3, 282, 706	
貯蔵品合計		<u>3, 282, 706</u>
(5) 貸倒引当金		
貸倒引当金	△568, 029	
貸倒引当金合計		<u>△568, 029</u>
流動資産合計		<u>554, 802, 900</u>
 資 産 合 計		 <u>1, 566, 065, 734</u>

負 債 の 部

3 固定負債

(1) 企業債

建設改良費等の財源に充てるための企業債	107, 126, 490	
企業債合計		<u>107, 126, 490</u>

(2) 引当金

その他引当金	0	
引当金合計		<u>0</u>
固定負債合計		<u>107, 126, 490</u>

4 流動負債

(1) 一時借入金

一時借入金	0	
一時借入金合計		<u>0</u>

(2) 未払金

営業未払金	2, 204, 857	
営業外未払金	0	
その他未払金	0	
未払金合計		<u>2, 204, 857</u>

(3) 前受金		
前受金	0	
前受金合計		<u>0</u>
(4) 企業債		
建設改良に伴う企業債	6,662,585	
その他の企業債	0	
企業債合計		<u>6,662,585</u>
(5) その他流動負債		
仮受消費税及び地方消費税	0	
その他流動負債合計		<u>0</u>
(6) 引当金		
賞与引当金	2,395,137	
その他の引当金	0	
引当金合計		<u>2,395,137</u>
流動負債合計		<u><u>11,262,579</u></u>
5 繰延収益		
(1) 長期前受金		
長期前受金	482,594,250	
長期前受金合計		<u>482,594,250</u>
(2) 長期前受金収益化累計額		
長期前受金収益化累計額	△318,703,965	
長期前受金収益化累計額合計		<u>△318,703,965</u>
繰延収益合計		<u><u>163,890,285</u></u>
負 債 合 計		<u><u>282,279,354</u></u>

資 本 の 部

6 資本金		
(1) 自己資本金	38,956,276	
(2) 借入資本金	0	
資本金合計		<u>38,956,276</u>

7 剰余金

(1) 資本剰余金

工事負担金	39,103,269	
引継資本剰余金	0	
受贈財産評価額	46,184	
他会計出資金	0	
資本剰余金合計		<u>39,149,453</u>

(2) 利益剰余金

建設改良積立金	120,000,000	
当年度未処分利益剰余金	1,085,680,651	
利益剰余金合計		<u>1,205,680,651</u>
剰余金合計		<u>1,244,830,104</u>

資 本 合 計 1,283,786,380

負 債 資 本 合 計 1,566,065,734

4 工事の概要

令和5年度上期には建設改良工事として、月形町月ヶ岡地区2工区及び新篠津村西篠津地区の配水管布設替工事のほか、浄水場残留塩素検水ポンプ整備工事を実施しました。

下期においては、令和3年夏に起こった渇水対策に必要な取水施設改修工事を行い、取水口付近の護床ブロック底面に開閉式の集水柵を設置し、夏場の渇水期でも取水できるよう対策を講じたほか、集水渠内の床堀作業を行い、機能改善工事を実施しました。

今後も安全、安心な水道水を給水区域内の住民の皆様に供給するため、施設及び設備の適正な維持管理に努めてまいります。

第2 令和6年度予算の状況

1 概 要

本年度の業務予定量は、給水件数が28,595件（対前年度：△264件・△0.91%）、年間総給水量が900,820 m³（対前年度：△62,780 m³・△6.52%）、一日平均給水量が2,468 m³（対前年度：△172 m³・△6.52%）となります。

営業費用の主な事業としては、隔年で実施する浄水場ポンプ系統機械設備総合精密点検業務及び取水施設監視装置点検業務のほか、浄水場低濃度PCB廃棄物処理業務の実施を予定しております。また、本年度は月新水道企業団が昭和49年4月に設立後、50周年を迎えることから「月新水道企業団設立50周年記念式典」を開催し、功労者や善行者に対する表彰、町民や村民が出演するアトラクション、これまでの企業団の歴史を振り返る映像紹介、両町村の小学生を対象とした月新水道企業団のマスコットキャラクターの募集を行うなど、心に残る記念事業を計画しております。

主な建設改良事業といたしまして、新篠津村の配水管新設及び布設替工事が3件予定されているほか、量水器の購入数は昨年度よりも163台多い502台を購入し、水道利用者の適正な使用量認定を行います。また、浄水場フロキュレーター上部にある駆動部の劣化・動作不良の解消を目的とした更新工事ほか、浄水場非常用発電機高圧機器交換工事を実施し、今後も老朽化が進行する水道施設の適正な維持管理を行い、安全・安心な「おいしい水」の供給に努めてまいります。

収益的収支の状況は、収入額の190,152千円（対前年度：△2,695千円・△1.40%）に対して、支出額が189,368千円（対前年度：△1,444千円・△0.76%）を見込んでいます。

また、資本的収支の状況は、収入額の6,766千円（対前年度：3,293千円・94.82%）に対して、支出額が51,561千円（対前年度：△4,719千円・△8.38%）となり、資本的収入額が資本的支出額に対して44,795千円の不足額を生じますが、当年度及び過年度分損益勘定留保資金で補てんすることになります。

2 経理の状況

(1) 収益的収入及び支出（消費税込み表示）

【収入】

（単位：千円）

区 分	令和6年度 当初予定額	令和5年度 当初予定額	対前年度比較	
			増減額	増減率
水道事業収益	190,152	192,847	△2,695	△1.40%
営業収益	176,697	179,229	△2,532	△1.41%
給水収益	176,557	179,043	△2,486	△1.39%
その他営業収益	140	186	△46	△24.73%
営業外収益	13,455	13,618	△163	△1.20%
受取利息	126	151	△25	△16.56%
補助金	2	2	0	0.00%
負担金	1	1	0	0.00%
消費税還付金	1	1	0	0.00%
雑収益	5,979	5,623	356	6.33%
長期前受金戻入	7,346	7,840	△494	△6.30%

【支出】

（単位：千円）

区 分	令和6年度 当初予定額	令和5年度 当初予定額	対前年度比較	
			増減額	増減率
水道事業費用	189,368	190,812	△1,444	△0.76%
営業費用	184,601	185,863	△1,262	△0.68%
原水及び浄水費	64,783	61,478	3,305	5.38%
配水及び給水費	37,393	36,318	1,075	2.96%
総係費	31,889	33,728	△1,839	△5.45%
減価償却費	48,892	52,388	△3,496	△6.67%
資産減耗費	1,644	1,951	△307	△15.74%
営業外費用	4,667	4,749	△82	△1.73%
支払利息	1,667	1,749	△82	△4.69%
雑支出	3,000	3,000	0	0.00%
予備費	100	200	△100	△50.00%
予備費	100	200	△100	△50.00%

(2) 資本的収入及び支出（消費税込み表示）

【収入】

(単位：千円)

区 分	令和 6 年度 当初予定額	令和 5 年度 当初予定額	対前年度比較	
			増減額	増減率
資本的収入	6,766	3,473	3,293	94.82%
工事補償金	6,764	3,471	3,293	94.87%
工事補償金	6,764	3,471	3,293	94.87%
出資金	2	2	0	0.00%
出資金	2	2	0	0.00%

【支出】

(単位：千円)

区 分	令和 6 年度 当初予定額	令和 5 年度 当初予定額	対前年度比較	
			増減額	増減率
資本的支出	51,561	56,280	△4,719	△8.38%
建設改良費	44,898	48,184	△3,286	△6.82%
改良事業費	22,616	24,650	△2,034	△8.25%
営業設備費	22,282	23,534	△1,252	△5.32%
企業債償還金	6,663	8,096	△1,433	△17.70%
企業債償還金	6,663	8,096	△1,433	△17.70%
固定資産購入費	0	0	0	0.00%
固定資産購入費	0	0	0	0.00%

資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額 44,795 千円は、当年度及び過年度分損益勘定留保資金で補てんすることになります。

3 事業の経営方針

当企業団では事業の透明性と健全性の確保に向け、令和2年度に「月新水道企業団上水道事業経営戦略」を策定し、令和12年度までの経営の基本方針や収支計画について定めています。浄水場や導水ポンプ場、水管橋などの施設は、供用開始後50年近くが経過しようとしており、漏水等の発生が年々増え、浄水場においても経年劣化による設備の不具合が散見され、今後も同じような状況が続くものと思われます。そのため、適正な維持管理を行い、施設の長寿命化に努めていかなければなりません。

給水区域内人口の減少に伴い、水道料金を中心とした営業収益は漸減しておりますが、「おいしい水」を未来につなげるため、中長期的には浄水場の維持管理の方法や建替時期を明確にする調査業務の実施や災害時に備え新篠津地区への管路バイパス化の実施設業務を予定しております。経営戦略に示された推計に対し、毎年の決算状況を比較、分析するなど、現状に即した計画となるよう経営環境の変化に対応した見直しを行っていかねばなりません。

今後も日頃の予算執行の内容を検証するなど、職員一人ひとりが小さな努力の積み重ねを大切にし、必要な事業に取り組むための予算確保と適正執行に努めてまいります。

水道水の取水源となる須部都川は、樺戸連山から流れ出る自然豊かな川であり、山々には多くの動植物が生息する美しい自然豊かな環境を背景に、豊富な原水に恵まれています。この原水を取水し、1日も休むことなく浄水場において浄水作業を行っております。

月新水道企業団の水は、多くの町民及び村民のご理解とご協力に支えられ、今日まで事業運営を継続してまいりました。その結果、50年という月日の中で、これまで多くの子ども達が立派に成長して町と村を巣立ち、全国各地で目覚ましい活躍をしています。まさに町民と村民、大自然が育んだ友愛の水と言っても過言ではありません。今後も未来永劫にわたって、安全・安心な「おいしい水」をつなげてまいります。